

**女性議会**  
**質問通告書一覧**  
令和3年11月9日

【発言の順番】

**1番 勝 彩湖さん**

テーマ： 地域資源を生かしたまちづくりについて～より良い活用方法を見つけよう～

**2番 宇都宮 奈々さん**

テーマ： 再生可能エネルギーの地産地消について

**3番 大竹 照代さん**

テーマ： デンソー新工場建設に伴う通勤時の渋滞対策について

**4番 沖田 和子さん**

テーマ： 子ども食堂の必要性について

**5番 岩瀬 佳代さん**

テーマ： 農産物の地産地消と地元の産品として知っていただくための今後のビジョンについて

**6番 グェン ティ センさん**

テーマ： 外国人住民の就労支援について

**7番 恒川 貴子さん**

テーマ： 現代社会に順応した中学校のあり方とは

## 女性議会 質問通告書

氏名 勝 彩湖

テーマ	地域資源を生かしたまちづくりについて ～より良い活用方法を見つけよう～
現状や課題 意見・提案事項	<p>私は現在、大学で建築やインテリア、まちづくり関係を学んでいます。私が入っているゼミでは、まちづくりに関わる活動をしているのですが、多くの地域の人たちとの関わりを通じて、今この地域には何が必要なのか、どのようなことをすると変化が生まれて活性化につながっていくのかなど、たくさんを知りました。</p> <p>例えば、豊田市には「あそべるとよたプロジェクト」という活動があります。これは、あまり使われてない場所を企画・イベントができるような場所にして、貸し出すという活動です。そうすることで、場所に困ってる方への場所提供にもなりますし、使われていなかった場所に賑わいを持たせて、その場所を活性化させる役割も果たしています。</p> <p>また、豊田市には「とよたまちなか芸術祭」というものもあり、アートや音楽、演劇などを展示したり、発表したりするイベントがあります。そして、それを企画・運営する「とよたまちなか芸術ラボ」という活動があり、私も現在参加しているのですが、誰でも参加できる活動のため興味を持った人が運営に携わることができて、豊田市が賑わうきっかけになるとともに、多くの人の興味を引きつけるきっかけとなっています。このように、場所の使い方や人の集め方などを工夫することで、もっと良い場所にすることができそうです。</p> <p>だからこそ、西尾市には、もっと良い活用ができる場所がたくさんあることに気がつきました。</p> <p>例えば、西幡豆町にあるポートタウンミューは、現状はテナント募集中で賑わっている様子はありません。ですが、そこは高台で景色もよく、大通りが横に通っていて、とても広い空間でイベントや企画などで人を集める場所にするには大変良い場所です。とてももったいない使い方をしています。</p> <p>他にも、古川緑地は水辺が近く、緑があり、爽やかな雰囲気のある場所です。散歩したり、野球をしたり、サッカーをしたりしているのは見かけますが、イベントなどに積極的に利用する活動があまりないように思います。もっと運動できるイベントから、マルシェやワークショップなどの幅広い活用方法があると思います。また、そこ</p>

	<p>で行うイベント自体も地域の人などと一緒にいき、残せるものにする          ことで、ただ近所にあるものではなく、自分が作ったもの、自分          が関わったものになります。そのことで、より長く強くそのものに          愛着が湧きます。例えば、ペンキが剥がれている所を塗り替えもら          うだけでなく、自由に塗ってもらってアートのような壁を作った          り、テントのような大きいものからランタンのような小さいものま          でみんなで作って、それを実際に使用したり、様々なイベントがで          きると思います。</p> <p>このように、地域の人たちがその地域にある資源を生かしつつ、          自分たちでアイデアを出しながらより良い活用方法を考えて作った          ものは、その地域にとって特別なものになります。そうすることで          自分の住む地域への愛着が強まり、もっとまちづくりに参加して、          地域を活性化させようという意識が出てきます。そして、それは定          住人口だけでなく、交流人口や関係人口の増加にもつながっていく          と思います。</p> <p>そうするためには、地域の人たちが楽しみながらまちづくりに参          加できるように、行政が場所やきっかけをつくる必要があると考え          ます。今回は、例としてポートタウンミュウや古川緑地を挙げまし          たが、地域の人と協働でその場所に合った活用方法を見直していけ          ば、もっと良い雰囲気になるという場所が探せば他にもあると思          います。</p> <p>そこで質問します。</p>
<p>質 問</p>	<p>1. 空きスペースを新しいものに変えるというのは簡単なことでは          ないと思います。豊田市のように使われてない空きスペースを探          して貸し出しするような活動や、その場所の使い方を新しく考え          てみる活動を市が行ってはどうか。</p> <p><b>【再質問】</b>          現在推進している事業や今後推進予定の事業はありますか。</p> <p>2. 自分たちの住んでいる地域を好きになり、西尾市に住み続け          てもらうためには、地域の人と協力して何かを行って形に残すこ          とが大切だと思います。そういったイベントのようなものを、市が          企画して開催してはどうか。</p> <p><b>【再質問】</b>          合併 10 周年を記念して、本年度中に 22 の市民公募事業が実施          される見込みとのことですが、そのうち、地域を盛り上げるイベ          ントはどのようなものがありますか。</p>

## 女性議会 質問通告書

氏名 宇都宮 奈々

テーマ	再生可能エネルギーの地産地消について
<p>現状や課題 意見・提案事項</p>	<p>今年 IPCC の第六次評価報告書が発表されました。この報告書では、気候変動が人間の活動によるものだと明言され、特に温室効果ガス削減が重要とされました。</p> <p>気候変動が日本に与える災害は、主に水害、海面上昇、気温上昇の三つがあります。特に水害においては、数十年に一回とされる豪雨が8月ごろ九州、広島を直撃し、大きな被害を残しました。このゲリラ豪雨は、温室効果ガスによって引き起こされるという研究もあります。九州では記録的豪雨が毎年多発しており、各地で気温上昇により熱中症の発生が高まっています。日本で異常気象の影響が続いています。</p> <p>そのことから、災害が起こった後の「防災」だけでなく、温室効果ガスの削減により、災害の発生を未然に防ぎ、被害を最小限にする「防災」が必要ではないのかと私は考えます。</p> <p>次に、気候変動の西尾市への影響は、先ほど話した災害に加え、漁業や農業など、気候の変化によって、今まで収穫できていた作物ができなくなるという可能性があります。第二次西尾市環境基本計画によると、気候変動の影響により、水稻、花き、あさりなどが減少していると報告されています。さらに、温暖な気候ではなくなることで、茶畑の適した気候が消え、西尾の特産物である「西尾の抹茶」も絶滅してしまう可能性があります。</p> <p>そこで国は、「改正地球温暖化対策推進法」を制定し、2050年までに二酸化炭素排出量の収支を実質ゼロとするカーボンニュートラルを実現すると明記しました。再生可能エネルギーは自然資源など地方にポテンシャルがあり、それを利用することで地方創生につなげるというポイントがこの法律に含まれています。</p> <p>私は、西尾市が気候変動に対して行っていることを調べました。そこには新たなエネルギーの利用促進、市民による環境活動の推進、省エネ活動の推進と書かれており、さらに緑化も進めているようですが、この促進だけの活動では、2050年までにカーボンニュートラルが目指せるかどうか疑問に思います。西尾市の公共施設の再生可能エネルギー導入による、エネルギー収支の黒字化は評価</p>

できると思いましたが、公共施設だけでなく、西尾市全体での対策について具体的な計画がされていないと感じました。

私は、今特に必要な対策は再生可能エネルギーの地産地消に取り組むことだと思います。第二次西尾市環境基本計画によると、西尾市は日照時間が長い地域特性により太陽光発電・熱利用の高いポテンシャルがあるそうです。さらに、発電コストにおいて、太陽光が一番安いと報道されているので、太陽光発電において、官民連携で事業を起こしてほしいです。しかし、メガソーラーなどは広い土地が必要で、環境破壊であるとの批判も出ている通り、太陽光発電は、大規模な発電が難しい一面があります。

そこで、農業とかけあわせた、ソーラーシェアリングが有効ではないのかと考えます。ソーラーシェアリングとは、農地に支柱を立てて、上部空間に太陽光パネルを設置し、太陽光を農業生産と発電とで共有する取り組みです。新たな発電方法として注目され、気候変動対策とともに、農業の経営を安定化させ、農家の副業ともなりえる方法です。特に、茶畑でソーラーシェアリングをすることを提案します。

このことに対するメリットを挙げていきたいと思います。

① 太陽光発電のための広い土地を確保できる。

→西尾市には多くの茶畑がある。

② お茶はソーラーシェアリングに適した植物。

→お茶の場合、100%ではなく、60%の光が入ってくれば育つと言われている。太陽光パネルの角度によって、日光の入り方は調整できる。

③ お茶の生育によい。

→ソーラーパネルを設置することにより、冬には霜がおりず、夏の干ばつを受けない。直射日光を避けるために黒い布を使っているが、それをソーラーパネルに代用する。

④ 日本各地のソーラーシェアリングの実例がある。

→農業のソーラーシェアリングはもちろんのこと、茶畑でソーラーシェアリングに取り組んでいる実例(ソーラーシェアリングの下栽培した茶をニューヨークやロンドンで販売している株式会社流通サービス、静岡県掛川市、ソーラーシェアリングの設置を手がけるSMARTBLUE)があるので、参考にして進めることができる。

⑤ 若者に環境と再生可能エネルギーについて学んでもらう

→市内の小中学生は5月上旬から下旬にかけてお茶の手摘みに勤労体験学習として参加していることから、西尾市の取り組みについて学んでもらえる。環境学習にもなる。

	<p>⑥ 世界に販路を広げる。 →気候変動対策に積極的なヨーロッパ、北米などに、ソーラーシェアリングを利用した茶畑で生産した抹茶は高く評価され、より世界に発信できる。</p> <p>⑦ 災害時に電力を提供できる。 →2019年の台風15号で千葉県では一週間にわたって停電が続いた。その際、市民エネルギーちばというソーラーシェアリングをしていた太陽光発電施設は、間を開けてパネルを並べていたことで風をうまく逃がし、台風直撃後でも施設は無事だった。そして、発電した電気を使った無料の充電コーナーを設け、人々に電力を供給した。このように、災害時でも太陽光で電力を供給できるから、防災という観点からも、西尾市各地にソーラーシェアリングができれば、電力供給でき、市民のセーフティネットとなります。西尾市が茶畑主に補助金などを設置する代わりに、災害時の停電などが起こった際には、市民に電力を供給するという契約をすれば、より市民から理解を得られると思います。</p> <p>⑧ 「西尾の抹茶」というブランドをさらに高める →最初に申し上げた通り、気候変動により、「西尾の抹茶」がなくなってしまう可能性も今後ありえます。そんな「西尾の抹茶」が太陽光発電に積極的に取り組むことは必要だと思います。さらに、近年「西尾の抹茶」はブランド化できていると思いますが、再生可能エネルギーを生み出すことで、「西尾の抹茶」に新たな付加価値を付けることができます。栽培、販売する側として、これからの時代、かなり強みになると思います。これらの多くのメリットがあるので、私は西尾市にぜひ官民連携で「西尾の抹茶」のソーラーシェアリングに取り組み、茶農家を支援してこの積極的な事業を起こしてもらいたいです。これにより、「西尾の抹茶」から西尾をもっとブランドのある市に、そして活性化を目指せると思います。 気候変動による災害を最小限にして、市民の命を守るために、気候変動対策をお願いします。 そこで質問します。</p>
<p>質 問</p>	<p>1. 西尾市では、市全体の2050年までのカーボンニュートラルについて計画または実行していることはありますか。もしない場合は、10年に一度作成する西尾市環境基本計画とは別に、西尾市全体での気候変動の対策について、2030年までの計画と、2050年までの計画に分けて、カーボンニュートラルを目指すことを前提にして数年ごとに発表・実行してもらいたいです。</p> <p>【再質問】 住宅用太陽光発電施設などの補助金の活用状況はどのようですか。</p> <p>2. 企業及び市民に向けた再生可能エネルギー又はカーボンニュートラルに関する情報発信はどのように行っていますか。</p>

	<p>3. 今回紹介させていただいた「西尾の抹茶」のソーラーシェアリングについて、西尾市の茶農家からモデル茶畑を募集して、実際に太陽光パネルを取り付け、それによる茶の影響、発電出力、また災害時を想定して市民に実際に発電した電力を使ってもらえるなどのことを2030年までに実行してほしいです。そして、順調に運用できたならば、西尾市の茶畑、さらにほかの作物の農業においてもソーラーシェアリングの取り組みを進め、2050年までに、再生可能エネルギーの地産地消、カーボンニュートラルを達成することを、西尾市において取り組んでいただきたいと思います。いかがでしょうか。</p>
--	---

## 女性議会 質問通告書

氏名 大竹 照代

テーマ	デンソー新工場建設に伴う通勤時の渋滞対策について
<p>現状や課題 意見・提案事項</p>	<p>私が暮らす下羽角町には、株式会社デンソー西尾製作所があります。50年以上前になりますが、当時、私の父親が地元の誘致委員長として清水市議会議員とともに西尾製作所の誘致に関わり、用地買収に伴う代替地の問題などで大変苦労したと聞いています。</p> <p>西尾製作所の稼働後は、通勤時間帯になると岡崎市から広田川を渡って西尾製作所へ続く道路が非常に混雑するようになりました。それが原因で朝8時15分を過ぎないと外出できない状況となり、地元住民から多くの苦情が寄せられ、西尾製作所の方は頭を抱えていたのではないかと思います。その後、幸田製作所と善明製作所が建設され、幸田町から岡崎市へと続く道路等が建設されたこともあり少し改善されたものの、幹線道路については、未だに渋滞解消には至っていません。</p> <p>そのような中、西尾製作所の皆さんには地域に寄り添った対応をしていただいています。例えば、通勤時は指定された道路以外は通行しないというルールを守っていただき、生活道路の渋滞緩和に努めていただいています。また、地元住民との親交を深めるために、従業員の皆さんが町内の参加希望者とともに入羽角町と下羽角町、岡崎市中島町のカーブミラーをきれいに拭いてくださったり、地元住民が参加できる「緑のプロジェクト」や「あじさい茶会」などのイベントを開催し、終了後は社内にある食堂で食事をごちそうしてくださるなどして、地元住民との良好な関係を維持するための企業努力をされていると思います。</p> <p>しかし、渋滞を解消するためには、企業努力だけでなく新たな道路建設などの対策が必要だと考えます。用地買収問題などがあり、新たな道路を建設することが難しいことは理解していますが、朝夕の通勤時間帯の幹線道路をはじめとする道路の渋滞は、未だに解消されていないのが現状です。先日の朝も、所用のため室場を抜けて市街地に向かった際は、なかなか前に進みませんでした。</p> <p>吉良の駸馬・瀬戸地区にデンソーの新工場建設計画があると聞きました。西尾製作所を教訓としていただき、通勤車両による渋滞を発生させないために、道路整備を始めとしたあらゆる対策をお願いしたいと思います。そこで質問します。</p>



質 問	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 新たに建設される工場の規模と従業員数、敷地内や新工場の近くに社宅や独身寮を建設する予定はありますか。また、現在造成中の工事の計画はどのようなのですか。</li><li>2. 新工場建設に伴う周辺の道路整備計画はどのようなのですか。</li><li>3. 道路整備以外に、渋滞を発生させないような対策を何か考えていますか。</li></ol>
-----	---

## 女性議会 質問通告書

氏名 沖田 和子

テーマ	子ども食堂の必要性について
<p>現状や課題 意見・提案事項</p>	<p>私は、平成 15 年から西尾市更生保護女性会の会員として活動をしています。西尾市更生保護女性会は、更生保護に協力する現在会員数 168 人のボランティア団体で、罪を犯した人の立ち直りを支援する「更生保護活動」、青少年の健全育成を推進する「非行防止活動」、子育て中の家族を支援する「子育て支援活動」の 3 つを柱として、16 地区に分かれ、校区ごとに活動しています。</p> <p>私は、様々な活動を通じ、非行や犯罪に手を染める青少年は、子どもの頃からの環境が影響している場合が多いのではないかと、そして子育て世代を支えるとともに、共働き世帯やひとり親世帯など、多様化する世帯の子どもの居場所づくりが必要なのではと考えるようになりました。</p> <p>更生保護女性会の活動の原点は、すべての子どもが平等に、そして貧困に苦しむことなく、未来に希望を持って暮らせる環境を整えることです。成長期の子どもにとって、手作りの温かい食事をとることは心身の健康に大きな影響を与えますが、核家族化や共働きの家庭が増えた結果、学校から帰っても家に誰もいないため、ご飯を一人きりで食べる「孤食」が増えていると聞きます、また、子どもの貧困率も上昇傾向にあり子どもの約 7 人に 1 人が貧困状態と言われ、朝ご飯や晩ご飯を十分食べることができない相対的貧困層にある子どもが増えていることも社会的問題となっています。</p> <p>近年、子ども食堂が広がりを見せ、2016 年からわずか 3 年足らずで約 10 倍以上に増えています。その背景には、行政だけでなく、地域で活動する個人やボランティア団体が問題意識を持って、子どもの貧困問題と向き合い、取り組んできた結果だと言えます。</p> <p>子ども食堂は、単に食事を提供するだけでなく、地域住民の大人の目が届いた場所で、アットホームな雰囲気の中でご飯を食べることができます。また、家に 1 人である場合と違い、子どもに異変があった場合などにも対応することもできます。そして何より、子ども達が地域の人とコミュニケーションを取ることができる場としても重要な役割を果たしています。</p> <p>西尾市においても、有志でボランティア活動をされている「フードバンクにしお」をプラットフォームに、「西尾子ども食堂」や体験型子ども食堂「ぷちの輪おてら横丁」、「つるしろこども食堂」が展開されています。現在は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、子どもたちに手作りの食事を提供することは難しいため、生活困窮世帯への食材配布による支援が活動の中心となっています。こ</p>

	<p>の活動により助かっている家庭は多く、今後は、更生保護女性会としても、会員の協力を得ながらこの活動に協力し、現在の1か所から市域全体に増やすことができたらと考えています。</p> <p>しかし、子ども食堂の運営にはいくつかの課題があります。まずは、行政や地域が全ての家庭の事情を把握できていないため、支援が本当に必要な家庭に利用してもらうことが難しいという問題があります。次に、活動資金集めの問題があります。活動資金は、主に個人や企業からの寄付に頼る部分が大きく、市や社会福祉協議会からの支援もありますが、オムツやミルク代、生理用品代などに充てるとなくなります。そのため、不足分は無償で活動するボランティアの方たちの持ち出しによって賅われているのが現状です。さらにスタッフや会場確保の問題などもあります。</p> <p>全ての子どもが飢えることなくお腹を満たし、地域の大人に見守られながら孤立せずに暮らしていくために、子ども食堂が果たす役割は大きいと言えますが、この活動を広げていくためには、行政や地域の協力を得ながら問題を解決していく必要があると考えます。</p> <p>そこで質問します。</p>
<p style="text-align: center;">質 問</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コロナ禍の影響を受けて収入が減少し、子どもに食事を用意することにも苦勞している家庭が多いと聞きます。市では、そうした相対的貧困にある家庭について把握をしていますか。</li> <li>2. 本当に利用が必要な家庭に子ども食堂を利用してもらうためには、行政や地域住民との連携が必要不可欠です。市として、支援が必要な家庭の把握に取り組みませんか。</li> <li>3. 子どものいる貧困家庭に対する継続的な支援ができるように、ボランティア団体などが抱える資金面などの問題解決に向けて、市として新たな支援を行う考えはありますか。</li> </ol> <p><b>【再質問】</b> 近隣市の支援の状況はどのようですか。</p>

## 女性議会 質問通告書

氏名 岩瀬 佳代

テーマ	農産物の地産地消と地元の産品として知っていただくための今後のビジョンについて
<p>現状や課題 意見・提案事項</p>	<p>私の家は、巨海町で主にハーブの苗を生産している専業農家です。私は、2010年に愛知県知事の認定を受けて愛知県農村生活アドバイザーとなり、愛知県農村生活アドバイザー協会西三河支部四ツ葉ドリーム会に属し、12年間活動に参加しています。この会を通して、米、野菜、花卉、畜産などの専業農家の方と知り合うことが多くなりました。また、視察や研修会で愛知県内や近隣の県に出向いて先進的な経営をしている農家の話を聞く機会にも恵まれ、その中で感じたことについて質問したいと思います。</p> <p>西尾市では、地の利を生かして様々な種類の農産物が生産されています。お茶は有名ですが、菊、バラ、カーネーションなどの切り花、キュウリなどの施設野菜、イチゴ、米麦大豆、観葉植物や洋蘭、和物などの鉢花、そして畜産では、鶏卵、養豚、酪農など多岐にわたっています。</p> <p>昨年度からの新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言などで農産物の販売不振が報道されています。私の聞いている範囲では、行政からの支援もあり、業務需要の低迷などでなかなか厳しい作目もあるでしょうが、各農家はそれぞれ品質向上や品種選択、より良い販売先の開拓に健闘しています。</p> <p>近年、地産地消という言葉をよく耳にします。地産地消は、生産者と消費者の繋がりや食の安全な取引、地域の食文化への理解、そして地域の活性化に繋がるとともに、産地偽装問題や輸送に伴う二酸化炭素排出による環境問題を解決するための有効な取り組みであると言われています。</p> <p>昨年度、農業経営士会、青年農業士会の方たちと合同で地元農産物を市民の皆さんに知っていただくためのアンケートを実施しました。アンケートの内容は「西尾の農産物『贈りたい品』『貰いたい品』」です。アンケートを実施した場所は憩いの農園で、回答していただいた年齢層は60歳以上の方たちがほとんどでしたが、結果を簡単に言いますと、贈りたいものは花、貰いたいものは肉やイチゴということでした。</p> <p>西尾市の農産物は、私が思っていた以上に種類が多く魅力的な物もたくさんあります。まずはそれらを知り興味を持っていただくことが、地産地消を推進する上では重要であると思いました。</p> <p>世界的な原油価格の高騰を受けて、肥料、農薬、梱包資材などが値上がりしています。またコンテナ運賃航空貨物運賃の値上がりで</p>

	<p>輸入資材も値上がりしています。運送コスト、人件費、梱包資材などが値上がりしている現状を考えると、西尾市やその近隣で販売し、地元で消費する地産地消の取り組みは欠かせないものではないでしょうか。</p> <p>私は、鉢物生産農家として、長い間、消費者が何を求めているかという事を考え続けてきました。そして流行は、ある意味作られるものではないかと考えるようになりました。誰か仕掛ける人がいて、それが人の目に触れて、時流に乗れば評判になっていくのではないかと思います。少し前までは、テレビ、新聞、雑誌などで取り上げられることがとても効果があったと思うのですが、若い世代は、あまりテレビ、新聞などを読まなくなって、スマートフォンやタブレット、パソコンを見ているように感じます。</p> <p>昨今のこのような社会情勢を考えますと、特に30歳代以下の若い年齢層の人たちには、インターネットやSNSの働きかけが重要ではないかと感じました。</p> <p>将来のことを見越していくと、若い年齢層の消費動向や考え方を理解し、その世代に興味をもってもらうことは非常に重要だと思いますし、地元の農産物について広く皆様に認知してもらうことは大切で、まずはそこからは始めていかなければいけないことを痛感しました。</p> <p>農産物に限らず、地元産品のラインナップの特集を組んでクローズアップするとか、ネット上の物産展を開いてみるとか、その中で有望なものをふるさと納税の返礼品に推奨していくとか、西尾市として、攻めていく産業振興の政策に期待したいと思います。</p> <p>そこで質問します。</p>
<p style="text-align: center;">質 問</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地産地消を推進するため、市ではどのような取り組みを行っていますか。また、さらなる推進を図るための新しい政策はありますか。</li> <li>2. 産業振興のため、地元農産物の宣伝について、今後どのように取り組んでいきますか。</li> </ol>

## 女性議会 質問通告書

氏名 グエン ティ セン

テーマ	外国人住民の就労支援について
<p>現状や課題 意見・提案事項</p>	<p>近年、日本に留学・就労する外国人が大幅に増え、西尾市では、人口約17万人のうち、人口の約6パーセントに当たる約1万人が外国人住民となっています。</p> <p>私は、就労ビザでエンジニアとして日本で働く夫の家族として、家族滞在ビザにより西尾市に住んでいますが、市内には、私と同じように家族滞在ビザで来日している人が多くいます。</p> <p>家族滞在ビザ保有者には、母国の専門学校に通って資格を取り、専門知識を必要とする職についていた経験のある人たちが多くいます。しかし、日本の法律では、家族滞在ビザで来日している場合、週28時間を超えて働くことができないため、その条件に適した仕事を見つけることが非常に困難になっています。せっかく母国で専門知識を学んできているのに、活用しないのはとてももったいないと思います</p> <p>このまま日本で少子高齢化が進むと、さらなる労働力不足に直面することが予想され、それは西尾市も例外ではないと考えます。たとえ短時間であっても、外国人住民が自分の専門資格を活かして働くことができれば、地域の労働力不足の改善に繋がり、地域産業・住民にとってもメリットがあるのではないのでしょうか。さらに日本人住民と外国人住民が地域で一緒に仕事をすれば、お互いの理解が深まって交流が活発になり、多文化共生の推進につながると考えます。</p> <p>また、外国人住民は、必要な情報を見つけられないことがあります。私も市の職員の採用情報が見たくて市のホームページを見ましたが、情報にたどり着くことができませんでした。誰にとっても分かりやすく情報を公開することは、とても重要なことではないでしょうか。</p> <p>そこで質問します。</p>
<p>質 問</p>	<p>1. 主に公共職業安定所が求人を取り扱っていると思いますが、市としても、専門資格を持っている外国人住民と短時間でも採用したいと考えている市内企業等がつながるように支援しませんか。</p> <p>【再質問】 一般の会社からの情報が出ていることを知りませんでした。市役所から出ている臨時職員の求人情報を、外国人住民にも分かりやす</p>

	<p>くしていただけませんか。</p> <p>2. 外国人住民が必要な情報をすぐに見つけられるように、市の情報発信の仕方を工夫しませんか。</p>
--	---

## 女性議会 質問通告書

氏名 恒川 貴子

テーマ	現代社会に順応した中学校のあり方とは
<p>現状や課題 意見・提案事項</p>	<p>西尾市では、多文化共生、それぞれの個性を認め、多様性を尊重した共生のまちづくりを推進しています。しかし、今の中学校にはまだあまりにも閉鎖的で保守的思想が強く残っていると思います。</p> <p>IT社会、新型コロナウイルスまん延により社会は確実に変化しています。多種多様な子どもたちに臨機応変に適応して変化していける学校が必要だと考えます。</p> <p>令和3年8月現在、西尾市の人口は171,029人、そのうち外国人人口は9,936人で、人口の5.8%が外国人という計算になります。35人クラスでいえば2人は外国人ということになります。また、中学校における不登校児は249人、教室以外への登校児数は約60人。ここで問題にしたいのは、外国人の問題でも不登校児の数でもありません。</p> <p>一つ目、考えてほしいのは、学校側や他生徒側の意識の変化が必要だということです。今の学校には“見えない網”があります。学校の様々な規則や慣例を良しとする見えない網です。生徒たちは、この網の中に先生が言う通りに収まっている間は良いのです。ですが、一度、「え？何で？」「これは正しいの？」「これがなかったらどうなるの？」と疑問を抱き出したら最後、その網からすり抜けて下に落ちてしまいます。いわゆる“学校に適應できない子”とされてしまうのです。本来、この年齢の子どもは、心身の成長と共に様々なことを考え葛藤する時期です。小さい頃は何とも思わなかったことでも、思春期になると疑問に思います。この規則の意味は何？先生の意見だけが正しい答え？どうして先生たちは自分の意見と合う子だけに良い成績をつけるの？と。本来なら、子どもたちは自由に考え、自由に意見を述べる力があります。学校に通えない原因は、その子だけの問題ではありません。学校教育が閉鎖的で古典的である限り、その数は増え続けると思います。共通の価値観を押し付ける教育を変えていく必要があると考えます。もっと目の前の子どもたちを見てください。例えば、冬、女子生徒がとても寒がっているのに、タイツの着用がダメなのはなぜでしょうか。慣例や学校の評判のためでしょうか。目の前で寒がっている子どもたちを見て、なぜ変えられないのでしょうか。自分の子どもがまだ</p>



	<p>小さい頃、寒がっていると、親は一枚上に着せると思いますが、それと同じです。それでもタイトの着用が無理な理由があるなら、子どもたちが納得できるよう説明したら良いのです。子どもたちにも考える力、判断する力があるのですから。</p> <p>二つ目に、中学におけるICTの活用についてです。現状では、不登校や学習室通いの子は成績が1です。でも本当に勉強したくない子や能力のない子たちでしょうか。違います。まずは、その子どもたちに向けてICTを活用した学習活動を今すぐにでもスタートしてください。国の方針では、ICTを活用して行った学習成果を出席扱いとしたり評価に適切に反映できるようにするとあります。西尾市は、いつからそれが可能になりますか。教室に行けない理由は様々です。障害や家庭の事情の場合もあります。そのような場合でも、学校と平行して学習していけるようなシステムを作ってください。学校で手を挙げなくても、紙の宿題を提出しなくても、その子の学習能力は測れます。また学校に戻る時もスムーズです。担任の先生が忙しいのであれば、ICTシステムにより生徒たちの学習を見守る担当の方を配置するなどし、先送りにしないで、今年度の生徒から救っていただきたいと思います。</p> <p>そこで質問します。</p>
<p style="text-align: center;">質 問</p>	<p>1. 全生徒が通える学校が理想です。西尾市として、今後、中学校をどのように変革していく計画がありますか。</p> <p>2. 中学校における教育のデジタル化推進について、</p> <p>①市内の小中学校の無線LAN整備率はどのくらいでしょうか。</p> <p>②今後のICT推進計画について具体的にご提示ください。</p> <p>③日本語指導が必要な外国人児童や不登校生徒に対し、まずICTを活用した学習活動を始める必要があると思いますが、具体的な計画をご提示ください。</p> <p><b>【再質問】</b> 不登校生徒に対するオンライン授業についての計画をご提示ください。</p>